

事業成果報告書

8月6日（火）

文京区・全柔連による世界選手権イベント参加

※文京区・成澤区長、全日本男子監督・井上康生氏、女子監督・増地克之氏らのトークイベントに参加して、柔道の素晴らしさや教育的価値・青少年育成の可能性の奥深さを再認識する事が出来た。

※井上・増地両監督が直接指導される柔道教室では、両氏が共に子供達と視線を合わせ具体的かつ理論的に技への導入等を指導されている事が共感できた。

※技を掛け合う（打ち込み）場面でも選手（子供達）の良い所を先に褒めて、流れの中で改善点を伝える等の工夫をされている事も取り入れる点だと感じた。

8月7日（水）

講道館訪問・研修

※講道館・上村春樹館長に表敬訪問する事が出来、地方で柔道を指導する者として、嘉納治五郎先生の教えや、これからの柔道指導者に必要な資質等についてお話を伺い身の引き締まる思いがした。また、熊本県出身者として後進の育成に強い関心を持たれている事もわかり自身の励みになった。

※春日柔道クラブの練習会に参加する事が出来、向井幹博先生のご指導を直接学ぶ事となった。大人数の子供達の指導は大変だが、練習開始前のゆっくりとした時間と練習時間内とのメリハリが有り先生方との信頼関係がしっかりと構築されていると感じた。

※乱取り練習に入る導入の仕方や、ウォーミングアップを含めた練習グループの作り方では、低学年から中学生までレベルや体格に合う組合せを考えて指導に気を使っておられる事が感じられた。

※乱取り練習の方法は、より実戦（試合）を想定した形で行われ、組合せ・寝技・立ち技の乱取り練習が組み立てられており、正に「目から鱗が落ちる」感があり玉名柔道協会の指導に取り入れたいと考えた。

※練習中指導をされる向井先生をはじめ他の先生方が、子供達を良く観察して名前でも声掛けをされている点は共感でき、自分達の指導スタンスの再認識が出来た。

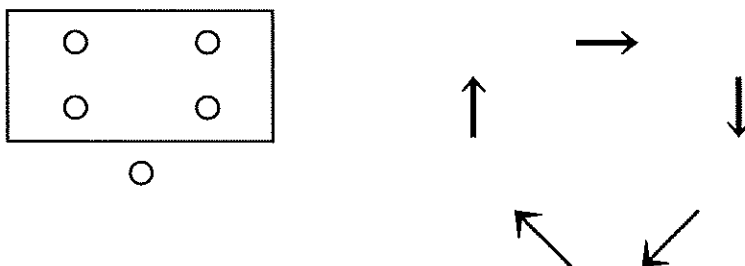
春日柔道クラブの練習方法

総合乱取り

- ・学年毎又は体格にあわせて、五人組のグループを作らせる。道場に横一列(二列)に集合
- ・各グループ2人組をつくり、1名は後方へさがる(1回休み)

寝技打込み(受け、取り)	25秒 8秒休み 25秒 8秒休み	①技の確認(かけ方、返し方等) 交代 ②同じく技の確認
寝技乱取り	30秒 8秒休み	
立技乱取り	150秒 40秒休み	
1セット終了	294秒 約5分	ローテーションをして交代 休憩中の選手は水分補給
5セット連続	25分	1選手20分の練習時間

低学年、高学年、中学生も同じ。ローテーションで練習している。





柔道全日本男子監督 井上康生氏 指導法を学ぶ



柔道全日本女子監督 増地克之氏 指導法を学ぶ



講道館 上村春樹館長 を表敬訪問



東京都文京区の春日柔道クラブの練習会において、指導方法を学ぶ



講道館 指導部の先生より子どもの指導法について学ぶ



指導講習を受けた指導者と子ども達

研修成果波及報告書

研修終了後、玉名柔道協会の合同練習会に於いて各道場の指導者・生徒による報告会・指導者講習会を行った。

期 日 令和元年 8月23日 金曜日 午後19時～

場 所 玉名市 武道館 柔道場

参加人数

指導者・役員 22名

生徒 約80名

内 容

研修参加者による研修報告 吉田利之会長

研修の様子や講道館での体験を話し、玉名柔道協会で行く組める事を提案した。

実際に合同練習で行なわれていた練習方法を参加者にデモンストレーションして体感する講習を行った。

別添付資料 有り



交流事業の概要説明と指導方法の内容をレクチャー



練習方法の具体的な説明・参加者によるデモンストレーション

